

令和 8 年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

1 開催日時

令和 8 年 7 月 30 日(木) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 10 分

2 開催場所

花巻市矢沢第 1 地割 1-36 宮沢賢治記念館多目的ルーム

3 出席者

(1) 委員 6 名

中島健次委員(矢沢地域振興会会長)、瀬川卓哉委員(宮沢賢治・花巻市民の会会員)、高橋俊吉委員(早池峰賢治の会事務局)、小原千秋委員(宮沢賢治・東和の会会長)、堀合範子委員(花巻ユネスコ協会事務局長)、多田章委員(矢沢地域振興会理事)

(2) 事務局(宮沢賢治記念館) 6 名

梅原生涯学習部長、大竹賢治まちづくり課長、牛崎館長、柳原副館長、宮澤上席主査、中島上席主査

4 議題

(1) 令和 7 年度事業報告について

(2) 令和 8 年度事業計画について

(3) その他

5 会議録

会議成立の報告(柳原副館長)

委員 7 名中 6 名出席。宮沢賢治記念館管理運営規則第 9 条第 2 項により、委員の半数以上が出席していることから、本会議が成立することを報告。

(1) 開会(柳原副館長)

(2) あいさつ

(梅原生涯学習部長)

改めまして、生涯学習部長の梅原でございます。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しいところご出席を賜りましてありがとうございます。また、今回は改選の時期でございましたけれども、委員をお引き受けいただきまして、重ねてお礼申し上げます。

はじめに、平成 28 年から長年にわたり委員をされておりました前委員の小原節子様が、昨年 11 月に逝去されました。小原様には当記念館の運営に多大なるご尽力をいただきました。ここにご生前のご功績に対し、改めて深く感謝申し上げます。

昨年度は 8 月に、開館から 42 年 10 ヶ月を経て入館者数 800 万人を達成いたしました。これまで多くの方々にご支援いただき、さまざま企画展等を実施しながら運営を進めてまいりました。ご支援いただいた方々、来館してくださった方々に深く感謝申し上げます。

今年度は宮沢賢治生誕 130 年の記念の年であり、さまざま事業が計画されておりますが、賢治記念館でも特別企画「賢治のチェロとトシのヴァイオリンで奏でる弦楽四重奏」を来年 3 月に文化会館で開催する予定です。

夏休みに入り、胡四王山周辺にも多くの方がいらっしゃっております。ますます賑やかな季節を迎えましたが、クマの目撃情報もあることから、昨年目撃情報のあった遊歩道の階段部分 50m にわたり電気柵を設置するなど、安全対策を講じております。皆様には安全に、心行くまで宮沢賢治の世界観を感じていただきたいと考えております。

本日は令和 7 年度の事業報告と令和 8 年度の事業計画について議題としております。委員の皆様からの忌憚のないご意見を賜り、より良い記念館運営に繋げてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 会長の互選及び職務代理者の指名

(柳原副館長)

次第 3「会長の互選および職務代理者の指名」でございますが、本運営審議会は会長が議長を務めることとされております。改選後最初の運営審議会でございますので、会長が決まるまでの間、梅原生涯学習部長が暫時議長を務めさせていただきますことをご了解願います。それでは梅原生涯学習部長、よろしくお願いいたします。

(梅原生涯学習部長)

暫時議長を務めさせていただきます。宮沢賢治記念館管理運営規則第 8 条第 1 項の規定により、委員の互選により会長を定めることとなっております。どのような方法で会長を選出したらよろしいでしょうか。お諮りいたします。

(事務局案の提示を求める声あり。)

(梅原生涯学習部長)

事務局案というご提案がございましたので、よろしいでしょうか。では、事務局より提案をお願いいたします。

(柳原副館長)

事務局より提案申し上げます。会長に中島健次委員を提案いたします。

(梅原生涯学習部長)

お諮りいたします。中島健次委員を会長とすることにご異議ございませんか。

(拍手あり。)

(梅原生涯学習部長)

拍手をいただきましたので、中島健次委員を会長とすることに決定いたしました。それでは、議長を中島会長と交代いたします。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

会長に選任いただきました中島と申します。皆様のご協力をいただきながら職責を果たしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。申し上げるまでもなく、この賢治記念館は花巻市はもとより、岩手県を代表する文化観光施設と思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事に入ります前に、宮沢賢治記念館管理運営規則第 8 条第 3 項に、会長に事故があったとき等の職務代理者を指名する規定がございますので、私から職務

代理者を指名いたします。花巻市民の会の瀬川卓哉委員にお指名したいと思います
が、いかがでしょうか。

(「異議なし。」の声あり。)

(中島会長)

特に異議がありませんのでお願い申し上げたいと思います。それでは早速ですが、
議事に入ります。

(4) 議事

ア 令和7年度事業報告について

(宮澤上席主査)

資料に基づき、令和7年度事業報告について説明。

(中島会長)

ただいまの令和7年度事業報告について、皆様からご質問ご意見がございましたら
お願いいたします。

(瀬川委員)

個人入館者と団体入館者の内訳はどのようになっていますか。

(柳原副館長)

資料を確認しますので少しお時間をいただきたいです。

(堀合委員)

解説案内についてですが、昨年度は何件くらいの対応になりましたか。

(柳原副館長)

花巻観光協会の観光ボランティアガイドによる説明は、団体客の1割程度と思いま
す。

(堀合委員)

寄贈された国訳妙法蓮華經の一般公開はありますか。

(宮澤上席主査)

これは常設展示されています。今回寄贈を受けたものについても様々な展示に関連
し活用していこうと考えています。

(柳原副館長)

先ほど瀬川委員からご質問ありました団体の入館者数について回答いたします。団
体料金での入館者は4,745人となります。共通入館券による団体入館者もありますの
で、はっきりとした団体入館者数は把握できていません。後ほど入館者内訳の資料を
配布いたしますのでご確認をお願いします。

(瀬川委員)

海外の方、インバウンド関係の方たちはどのくらいになりますか。

(柳原副館長)

入館受付では聞き取り調査をしていませんが、受付スタッフの感覚としては年間
1,000人程度で、そのほとんどが台湾からのことです。

(瀬川委員)

高校生など、子どもの数が減ってきているので(子どもの入館者は)少ないのでし
ょうね。

(柳原副館長)

修学旅行の入館者は横ばい状態です。参考に過去3年の教育旅行入館者数を申し上げます。令和7年度78団体4,428人、令和6年度72団体4,344人、令和5年度105団体6,020人です。令和5年度は岩手県内の修学旅行が近場での計画を実施したため、団体数や人数が増えていると思います。

(瀬川委員)

賢治の世界セミナーは、毎年同じ学校での開催でしょうか。

(宮澤上席主査)

同じ学校での開催ではありません。学校ごとに日程調整などが難しいということで、開催する学校について若干の変化はあります。開催合計数としてはあまり変わってはいないと思います。お声がけとしては市内全小中学校に毎年行っております。高等学校についても全学校にアプローチをしていますが、都合が合わずに開催できていない高等学校もあります。

イ 令和8年度事業計画について

(宮澤上席主査)

資料に基づき、令和8年度事業計画について説明。

(高橋委員)

「賢治の世界」セミナーの開催内容は決まっていますか。

(宮澤上席主査)

令和8年度は第1回を実施済みでして、盛岡市玉山地区へ移動学習をしております。賢治と啄木ということで、啄木ゆかりの地に赴き、賢治と啄木の関係性について学習していただいた内容となっています。第2回以降については、ご要望等をお伺いしながら検討していきます。

(瀬川委員)

直筆稿以外の展示で例えば書簡の展示など計画していないでしょうか。

(宮澤上席主査)

直筆稿は修繕を行い、修復修繕ができ次第展示を行うようにしております。書簡は所蔵がありませんので展示の計画はございませんが、絵に関しては、賢治が羅須地人協会時代に作図した教材用図面というものがありますので、数年前に特別展として公開を行いました。

(瀬川委員)

賢治ゆかりの石などいろいろなものが賢治記念館周辺に配置されてあると思います。解説表示をあまり立てるのもよくないという話もあったと思いますが、これらをパンフレットに掲載するなどはどうでしょうか。

(牛崎館長)

シグナルとシグナレスのモニュメントが旧正門通路にありますが、説明板を設置すると他の場所にも必要となります。当宮沢賢治記念館の設置当初の考え方として、何度も当館に足を運んでいただき、この中で来館者に気づいていただくというものがあります。

(中島会長)

パンフレットの中にモニュメント等について説明を加えることを検討していただ

ればと思います。

(小原委員)

講座(セミナー)開催の関係についてですが、小中高校からの要望により実施開催するのでしょうか。それとも事務局で働きかけをしているのでしょうか。子どもたちへのアプローチは大変重要と考えますが。

(宮澤上席主査)

市内小中高校すべてに働きかけを行っておりますが、学校行事や授業の都合により開催が難しいという学校もあるようです。

(大竹賢治まちづくり課長)

小学生へのアプローチに関してですが、市教育委員会といたしましては、副読本「小学生のための宮沢賢治」を作成しており、全小学校の3、4年生の授業内で学習する機会を設けております。また、セミナーなどを全部の学校で取り組めないかというお話がございました。そのようにできればもちろん大変ありがたいのですが、例えば東和地区の学校では、伝承芸能活動や、地域の歴史、産業の学習などに力をいれているようです。現場の先生方は様々なことを学ばせたいという思いはあるものの、どうしても時間が足りないというのが実情です。そのため、地域コーディネーター等とも連携しながら、数ある活動の中から各学校で取捨選択して取り組んでいただいている状況でございます。高校におきましても、各校で様々な取り組みが行われております。賢治先生が実際に教壇に立たれた花巻農業高校や、地域学習の一環として学びを進めている大迫高校などは本セミナーに申し込みをいただいております。また、花巻南高校は賢治の妹・トシゆかりの学校ですが、こちらでも授業外ではあるものの、生徒が自主的にトシに関する作品創作等に取り組んでいる事例がございます。このように、児童生徒に対しては様々な機会を設けていること、また各学校においても各種取り組みが行われていることを情報提供させていただきます。

(瀬川委員)

今年の1月、2月は降雪が多かったと思います。市道宮沢賢治記念館線を登れなかった車両はありましたか。

(柳原副館長)

おおよそ5、6台程度あったと記憶しています。

(大竹賢治まちづくり課長)

スタックする方は県外ナンバーのレンタカーの方が多く、アクセル操作等に慣れておらずスタックしてしまうようでした。

(柳原副館長)

融雪区間もすでに設置されておりますし、冬季は毎朝散布車両が市道に融雪剤を散布していますが、不足するところは当館で融雪剤を散布し対応をしていきたいと考えています。

(多田委員)

知人を宮沢賢治記念館に案内することとしていますが、案内説明が難しいとも思っています。イヤホンで説明解説を聞くことができるようなものはあるのでしょうか。

(宮澤上席主査)

イヤホンで説明解説するシステムはまだ、入っておりません。

(多田委員)

宮沢賢治に関する案内や解説は、専門的なところがあり難しいと感じています。案内ガイドを配置してほしいとまではいかないものの、何かあれば良いかなと思います。

(多田委員)

近くに小学校、中学校もありますが、臭いが気になります。来館者から悪臭について、なにか意見などはありませんか。

(宮澤上席主査)

意見として承っているものはありませんが、我々スタッフも天候によっては気になる臭いとなっていることがあります。他県から来館した方はもっと気になっているのではと感じます。

(瀬川委員)

最近、臭いが増えてきたように感じます。風向きによっては市内のほうにも臭いが来ることがあります。来館者にこのような臭いが印象づいてしまうことはよろしくないと思いますし、市としてもよくないのでは。

(梅原生涯学習部長)

担当課（生活環境課）でも臭いについては把握しており、特に今年に入ってから童話村や宮沢賢治記念館周辺でも強い臭いが確認されていることも把握し、既に相手方企業にも注意しているところです。また、国の関係省庁への要望活動もしております。当該施設は畜産関係施設でございますので、農林畜産関連の補助金等の交付が見込まれる状況となれば、相手方企業においても改善に向けた対策が進むのではないかと推察しております。

(中島会長)

該当施設の許可権限は岩手県にありますが、畜産振興と畜産廃棄物の処理という相反する課題をあわせて考えていかなければならない状況となっています。

また、当該施設が畜産振興上必要な施設であることは重々承知しておりますが、なぜこの花巻市内に立地しなければならないのかという点につきましては、率直に疑問を感じざるを得ません。

そして、この問題が宮沢賢治記念館を訪れる来館者の皆様にご迷惑をおかけする要因となっている実態につきましても、私から岩手県に対して説明し、申し入れを行っているところでございます。

(瀬川委員)

記念館を訪れて、記念館は臭かったと臭いの印象が残ってしまうのは問題。イギリス海岸まで臭うこともある。

(中島会長)

引続き厳しく声を上げていきたい。

(瀬川委員)

今年は、宮沢賢治生誕 130 年ということですが、イベント情報などの発信が見えて来ていないように思います。情報を取りまとめの上、発信いただきたいと思います。

(大竹賢治まちづくり課長)

宮沢賢治イベントカレンダーを年 2 回発行しており、9 月には新しいカレンダーを

発行します。またホームページなどでも当課で把握できた情報は逐次発信し、PR していくことを継続していきます。

(堀合委員)

桜町の詩碑のそばに、花巻病院が管理している賢治関連の資料館がありますが、閉館しているとのこと。中には宮沢賢治関連資料として貴重な 16 ミリフィルムなどが保管されているそうです。可能であれば花巻市が譲り受けし管理するなど検討していただきたいと思います。

(梅原生涯学習部長)

貴重な資料があることは伺っておりますが、相手があることですので、お声がけがありましたら対応していきたいと思います。

(中島会長)

令和 8 年度事業計画についての質問は他にあるでしょうか。

(質問なし)

(5) その他

(中島会長)

それではこの機会に、牛崎館長からひと言お話をいただければと思います。

(牛崎館長)

本年 4 月から館長を拝命しております牛崎です。本年は宮沢賢治生誕 130 年ということもあります。私も館長を拝命しまして、ご要望もあることから対談形式で館長講話を実施したいとも考えております。また、宮沢賢治学会イーハトーブセンターへ高校生が入会するなど、宮沢賢治への関心が高くなってきているとも感じます。

(中島会長)

ありがとうございます。それでは事務局で進行をお願いします。

(柳原副館長)

ありがとうございました。その他として何かご発言あるでしょうか。

(梅原生涯学習部長)

情報共有をさせていただきたいと思います。宮沢賢治生誕 130 年記念として萬鉄五郎記念美術館で、宮沢賢治と美術の関わりをテーマに宮沢賢治展を計画しております。これは、9 月 19 日から 12 月 6 日まで開催する予定で、準備を進めているところでございます。

また、生涯学習課で花巻賢治セミナーという一般向けのセミナーを開催しておりますが、賢治と絵画・美術関係、朗読などをテーマに、秋の 10 月、11 月頃開催する企画を練っております。決まり次第、広報誌やホームページなどでご案内していきたいと思います。

6. 閉会(柳原副館長)